

平成28年度 理学療法学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

鈴木 俊明、谷埜予士次、谷 万喜子、米田 浩久、
吉田 隆紀、後藤 淳、高木 綾一、大沼 俊博、
鬼形周恵子、文野 住文、東藤真理奈、山崎 航

B. 研究活動の概要

今年度の研究テーマは、下記のようなものである。

- 1) 理学療法評価および治療法に関する神経生理学的・生体力学的研究
- 2) 理学療法と鍼灸医学の考えを組み合わせた新しい治療法の開発と、その効果に関する神経生理学的研究
- 3) 運動学習、運動イメージに関する神経生理学的研究
- 4) 神経疾患に対する鍼治療効果に関する基礎および臨床研究

C. 研究業績

1. 著書・原著

著書

- 1) 鈴木俊明：テキスト物理療法学 基礎と臨床, 第8章 電気診断法. 濱出茂治・烏野大(編) 医歯薬出版. 東京. 236-262. 2016

原著

生田啓記、井尻朋人、鈴木俊明：膝関節屈曲角度の変化に伴う膝関節伸展等尺性収縮時の大腿四頭筋における筋活動変化. 理学療法科学. 31:7-11.2016

文野住文、鈴木俊明、岩月宏泰：異なる筋収縮強度を用いた母指対立運動イメージが脊髄運動神経の興奮性と自律神経活動に及ぼす影響. 理学療法科学. 31:117-125.2016

高橋 護、谷 万喜子、鈴木俊明：アキレス腱付着部への集毛鍼刺激がヒラメ筋のH波に与える影響—2分間での検討—. 日本東洋医学雑誌. 67:22-27.2016

吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明、増田研一：外反母趾症状を有する女子学生の歩行時の特徴—健常若年女性と

の比較—. 理学療法. 33:469-475.2016

生田啓記、谷 万喜子、鈴木俊明：太白穴への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響—公孫穴との比較—. 日本東洋医学雑誌. 67:257-263.2016

鈴木俊明、谷 万喜子、文野住文：動作解釈の方法. 関西理学. 16:1-2. 2016

文野住文、鈴木俊明、岩月宏泰：運動イメージが脊髄運動神経の興奮性および自律神経活動に及ぼす影響. 関西理学. 16:31-36. 2016

木津彰斗、末廣健児、國枝秀樹、石濱崇史、池田幸司、鈴木俊明：端座位での前方リーチ肢位保持における大殿筋および内側・外側ハムストリングスの筋活動. 関西理学. 16:43-47. 2016

今奈良 有、福本悠樹、文野住文、鈴木俊明：母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性と運動の正確性に与える影響—30%MVCによる検討—. 関西理学. 16:49-54. 2016

野村 真、嘉戸直樹、鈴木俊明：手のメンタルローテーション課題が上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響—反応時間の違いによる検討—. 関西理学. 16:63-67. 2016

小松菜生子、武 風沙、高森絵斗、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：健常者における異なる筋収縮強度での随意運動時のF波—F波波形の種類での検討—. 関西理学. 16:69-77. 2016

武 風沙、小松菜生子、橋谷裕太郎、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：日本舞踊における右下肢の後方ステップ動作時に転倒の危険性が生じた脳梗塞後右片麻痺患者の理学療法. 関西理学. 16:79-86. 2016

川崎由希、光田尚代、鈴木俊明：いざり動作練習により座位での浴槽跨ぎ動作の実用性が向上した頸髄症の一症

- 例一左上肢支持を用いた自立を目指して一. 関西理学. 16 : 87-93. 2016
- 山内陽介、山田真希、高森絵斗、早田 莊、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：立位で重量物を保持し、前方の台上へのせる動作に安定性低下を認めた変形性脊椎症の合併症を有する頸椎症性脊髄症患者に対する理学療法. 関西理学. 16 : 95-100. 2016
- 淵本 恵、辻 智美、貝尻 望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：歩行において右股関節屈曲位が継続することで右遊脚が困難であった脳出血後右片麻痺患者の理学療法. 関西理学. 16 : 101-107. 2016
- 森川智貴、楠 貴光、早田恵乃、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：歩行の左立脚期に膝関節外反が増大し安定性低下を認めた左脛骨・腓骨近位部骨折後患者の理学療法. 関西理学. 16 : 109-115. 2016
- 吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明、増田研一：外反母趾用靴下における介入効果の検証. 理学療法科学. 31 : 857-863. 2016
- 鈴木俊明、文野住文、谷 万喜子、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、浦上さゆり、吉田宗平：運動イメージ効果を認めなかったF波の波形の種類は増加することがある. 脊髄機能診断学. 37 : 39-42. 2016
- 文野住文、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、鈴木俊明：10%収縮強度運動イメージが脊髄運動神経の興奮性に与える影響－運動イメージ時の自覚的筋収縮強度を考慮して－. 物理療法科学. 23 : 15-19. 2016
- Suzuki T, Bunno Y, Tani M, Onigata C, Fukumoto Y, Todo M, Uragami S, Wakayama I, Yoshida S: F-Wave Waveform Values Based on the Correlation Coefficient of Each Waveform Increased Following Improved Voluntary Movements in a Patient with Cerebrovascular Disease: A Case Study with Long-Term Follow-Up. *Int J Neurorehabilitation Eng* 3: 206, 2016
- Todo M, Bunno Y, Suzuki T: Excitability of Spinal Neural Function by Motor Imagery with Isometric Opponens Pollicis Activity: Influence of Difference Methods Motor Imagery. *Int J Neurorehabilitation Eng* 3: 6, 2016
- Suzuki T, Tani M, Bunno Y, Onigata C, Uragami S, Fukumoto Y, Wakayama I, Yoshida S: Mismatched F-Wave Data with Clinical Findings in a Patient with Cerebrovascular Disease. *Austin J Neurol Disord Epilepsy*. 3 (2) : 1023, 2016
- Bunno Y, Onigata C, Suzuki T: The Imagined Muscle Contraction Strengths did not affect the Changes of Spinal Motor Neurons Excitability. *Journal of Novel Physiotherapies*. S3: 008, 2016
- Fukumoto Y, Bunno Y, Suzuki T: Effect of motor imagery on excitability of spinal neural function and its impact on the accuracy of movement-considering the point at which subjects subjectively determine the 50%MVC point. *Journal of Physical Therapy Science*. 28: 3416-3420. 2016
- Ijiri T, Takagi R, Suzuki T: Isometric Contraction of Scapular Muscles Activities during Horizontal Abduction and Adduction of the Shoulder. *Journal of Novel Physiotherapies*. 7:2. 2017
- Kado N, Ito M, Fujiwara S, Takahashi Y, Nomura M, Suzuki T: Effects of Practicing Difficult Movements of the Unilateral Arm on the Excitability of Spinal Motor Neurons in the Contralateral Arm. *Journal of Novel Physiotherapies*. 7:1. 2017
- Suzuki T, Tani M, Takamori K, Yamada M: Modulation of Excitability of Spinal Neural Functions by Acupoint Stimulation Physical Therapy at LU5 (Chize) in Three Hemiplegic Patients with Cerebrovascular Disease. *OBM ICM* 2017; 2 (1) : 001; doi:10. 21926/obm.icm.1701001.
- Suzuki T, Yoshida S, Nakayoshi T: Importance of Strength Training of the Triceps Surae Muscles for Improvement of Walking Speed in Patients with Subacute Myelo-Optico-Neuropathy. *Lett Health Biol Sci*. 2: issue 1. 2017

2. 総説

3. 学会発表・学術講演

井尻朋人、鈴木俊明：リハビリテーションの効率的な単位取得に対する勤務体制管理と目標設定の取り組み. 第18回日本医療マネジメント学会学術総会. 福岡. 2016.4.22

吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明：外反母趾症状を有する女子大学生の立位姿勢と歩行時の床反力の関係—外反母趾に対する運動療法の再考—. 第51回日本理学療法学会学術大会. 北海道. 2016.5.27

鬼形周恵子、文野住文、米田浩久、鈴木俊明：不快感情が脊髄神経機能の興奮性に与える影響. 第51回日本理学療法学会学術大会. 北海道. 2016.5.28

伊藤正憲、高橋優基、嘉戸直樹、鈴木俊明：5秒間隔の聴覚リズム刺激と指タッピングの同調がその後に続く運動のリズムに及ぼす影響. 第51回日本理学療法学会学術大会. 北海道. 2016.5.28

文野住文、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、鈴木俊明：運動イメージ戦略の違いによる脊髄運動神経の興奮性変化—筋収縮イメージと感覚イメージを用いた比較—. 第51回日本理学療法学会学術大会. 北海道. 2016.5.29

山崎 航、谷埜予士次、鈴木俊明：歩行の停止時における下肢関節トルクの性差に関する検討. 第51回日本理学療法学会学術大会. 北海道. 2016.5.29

井尻朋人、鈴木俊明：関節角度の違いによる肩関節周囲筋活動の変化—水平内外転による検討—. 第51回日本理学療法学会学術大会. 北海道. 2016.5.29

野村 真、前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明：複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響—イメージ明瞭性の違いによる検討—. 第51回日本理学療法学会学術大会. 北海道. 2016.5.29

千賀 恵、井尻朋人、鈴木俊明：認知症患者の自宅復帰に影響を与える要因について—回復期リハビリテーション病棟における検討—. 第17回日本認知症ケア学会大会. 兵庫. 2016.6.4

鈴木俊明：麻痺側上肢の臨床所見とF波評価が乖離し

た重度の脳血管障害片麻痺患者に関する一考察. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

西村 健、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：立ち上がり動作時の口頭指示の違いが体幹・下肢の筋活動および動作パターンに与える影響. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

松井滉平、池澤秀起、井尻朋人、鈴木俊明：ホールドリラックスを用いたリラクゼーションイメージが対側上肢の脊髄神経機能の興奮性に与える影響. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

福田圭志、中村英美、光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明：在宅高齢者の後方転倒と転倒リスク評価の関係性の検証. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：立位での体重側方移動保持が内腹斜筋、外腹斜筋、内外腹斜筋重層部位、腹直筋の筋電図積分値に及ぼす影響. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

高橋優基、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明：聴覚リズムの変化による予測の乱れがその後の反応運動に及ぼす影響. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明：両手の交互運動が体性感覚誘発電位に及ぼす影響. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

嘉戸直樹、伊藤正憲、高橋優基、鈴木俊明：複雑な手の運動の練習が脊髄神経機能に及ぼす影響. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、小川博之、野村嘉彦、鈴木俊明：観察対象の左右差が脊髄神経機能の興奮性へ与える影響の違いについて. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 京都. 2016.6.10

林 哲弘、高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、小川博之、野村嘉彦、鈴木俊明：母指に対する表在・固有感覚刺激が脊髄神経機能の興奮性に与える影響について. 第

53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2016.6.10

福本悠樹、文野住文、鈴木俊明：運動イメージが脊髄神経機能の興奮性および運動の正確性に与える影響について, 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2016.6.10

渡邊裕文、大沼俊博、早田 莊、西谷源基、末廣健児、石濱崇史、木津彰斗、國枝秀樹、鈴木俊明：座位での最大速度による側方リーチ動作開始における圧中心(COP)の変化と内腹斜筋の筋活動について, 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2016.6.10

拜藤繁明、奥谷拓真、木津彰斗、石濱崇史、末廣健児、小川博之、野村嘉彦、谷埜予士次、鈴木俊明：テーピングによる下腿回旋角度変化と片脚着地前の筋活動開始時間との関係, 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2016.6.10

野口翔平、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：立位での一側下肢への側方体重移動が腰背筋群・足部周囲筋の筋活動パターンに与える影響, 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2016.6.10

辻 智美、早田 莊、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：立位でのステップ動作時におけるステップ側内腹斜筋横線維、内腹斜筋斜走線維の筋活動開始時間に関する検討, 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2016.6.10

辻 太輔、生田啓記、田中健一、井尻朋人、谷 万喜子、鈴木俊明：麻痺側茶碗把持動作に難渋した脳出血後遺症患者の一症例について, 第65回公益社団法人 全日本鍼灸学会学術大会, 北海道, 2016.6.11

高橋 護、生田啓記、濱野弘幸、井尻朋人、谷 万喜子、鈴木俊明：右片麻痺患者への集毛鍼刺激により足関節底屈位が改善した一症例—ヒラメ筋H波を用いた検討—, 第65回公益社団法人 全日本鍼灸学会学術大会, 北海道, 2016.6.11

生田啓記、田中健一、井尻朋人、谷 万喜子、鈴木俊明：上腕骨近位骨端線離開後に疼痛が残存した投球肩障害の一症例, 第65回公益社団法人 全日本鍼灸学会学術大会, 北海道, 2016.6.11

術大会, 北海道, 2016.6.12

國生貴裕、生田啓記、濱野弘幸、井尻朋人、鈴木俊明：右肩関節屈曲時に生じる疼痛改善に難渋した肩関節周囲炎の一症例, 第65回公益社団法人 全日本鍼灸学会学術大会, 北海道, 2016.6.12

清水貴史、野口翔平、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：立位での一側下肢への側方体重移動が非移動側下肢筋への筋活動パターンに与える影響, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

岡本雄大、岩淵順也、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：歩行動作に不安定性を訴えた腰椎骨折患者の一症例, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

下沖泰裕、池澤秀起、井尻朋人、鈴木俊明：立位における振り向き姿勢を保持する際の回旋角度の検討, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

白井孝尚、光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明：左立脚中期に左膝関節の外反により左膝に疼痛が生じる左脛骨顆間隆起骨折の一症例, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

杉田祐希子、井尻朋人、鈴木俊明：右立脚初期の股関節伸屈困難にて中期以降に不安定性を呈した右大腿骨頸部骨折の一症例, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

助口真美、池澤秀起、井尻朋人、鈴木俊明：立ち上がり動作の殿部離床後に左後方への転倒傾向を認める左脳梗塞患者の一症例, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

高濱祐也、池澤秀起、井尻朋人、鈴木俊明：右立脚初期から中期に前方への転倒傾向を認めた右踵骨骨折患者の一症例, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

松山剛士、井尻朋人、鈴木俊明：杖歩行動作で左遊脚期に前方不安定性を認める一症例—膝関節過伸展に着目して—, 第28回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2016.7.10

福本悠樹、文野住文、鬼形周恵子、鈴木俊明：右後足部回外が継続し歩行の安全性低下を認めた脳梗塞後右片麻痺患者に対する理学療法. 第28回大阪府理学療法学会大会.大阪府.2016.7.10

池田裕介、井尻朋人、鈴木俊明：足圧中心制御が困難な不安定面上片脚立位時の体幹の筋活動 - 支持側体幹筋による制御に着目して-. 第43回日本臨床バイオメカニクス学会. 北海道. 2016.10.8

井尻朋人、鈴木俊明：肩関節運動時の肩甲上腕関節及び肩甲胸郭関節の筋活動の順序性. 第13回肩の運動機能研究会. 広島. 2016.10.22

前田剛伸、野村 真、嘉戸直樹、鈴木俊明：複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響—イメージ統御可能性の違いによる検討—. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.28

高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明：自己と他者の母指の運動観察が脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響について. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.28

田中有美、高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明：運動観察時間の違いが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響について. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.28

嘉戸直樹、伊藤正憲、高橋優基、鈴木俊明：複雑さの異なる手の動作練習が上肢脊髄神経機能に及ぼす影響. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.28

野村 真、前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明：手のMental Rotation課題が上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.29

鈴木俊明、文野住文、谷 万喜子、鬼形周恵子、福本悠樹：運動イメージ方法の違いによる脊髄神経機能の興奮性は個人差がある. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.29

文野住文、溝上祥太、池田俊介、浜側光平、福本悠樹、

鬼形周恵子、鈴木俊明：運動観察しながらの運動イメージは運動観察のみより脊髄運動神経の興奮性を増加させやすい. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.29

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明：手指対立運動における運動順序の違いが短潜時SEPに及ぼす影響. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.29

福本悠樹、文野住文、鈴木俊明：運動学習後の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性及び運動の正確性に与える影響 30秒間の運動学習時間での検討. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.29

小松菜生子、武 凧沙、高森絵斗、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：健常者における母指球筋の等尺性収縮時のF波の検討—波形の種類について—. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.29

伊藤正憲、高橋優基、嘉戸直樹、鈴木俊明：裏打ちリズム運動後に継続する運動と自己ペース運動の関連性. 第46回日本臨床神経生理学会学術大会. 福島. 2016.10.29

宮迫絢冬、中上飛鳥、常石大夢、鈴木俊明、佐々木英文：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—運動経験の有無が運動イメージに与える影響—. 第25回日本柔道整復整骨医学会学術大会. 宮城. 2016.11.19

柳原ちはる、大西学生、佐々木英文、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—BMIとの関連性—. 第25回日本柔道整復整骨医学会学術大会. 宮城. 2016.11.19

溝端直人、佐々木英文、鈴木俊明：大学の硬式野球部における柔道整復師の役割. 第25回日本柔道整復整骨医学会学術大会. 宮城. 2016.11.20

中西康将、佃 知樹、佐々木英文、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響 —写真を用いた視覚が運動イメージに与える影響—. 第25回日本柔道整復整骨医学会学術大会. 宮城. 2016.11.20

秋山恵里佳、濱野弘幸、井尻朋人、鈴木俊明：浮腫およ

び中足部関節可動域改善により片脚立位の安定性向上がみられた変形性脊椎症の一症例. 全日本鍼灸学会第36回近畿支部学術集会. 大阪. 2016.11.23

吉田隆紀、谷埜予士次、増田研一、鈴木俊明：外反母趾用の機能的靴下による介入効果の検証. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.26

岩橋幸紀、森田大介、田中 周、福谷克基、吉田隆紀、鈴木俊明：扁平足におけるジャンプ動作・ドロップジャンプ動作時の特徴—床反力計による床反力と足圧中心軌跡長による検討—. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.26

玉置昌孝、野口翔平、中道哲朗、鈴木俊明：立位での一側下肢への側方体重移動が移動側ハムストリングスの筋活動パターンに与える影響. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.26

黒仁田武洋、清水啓介、中道哲朗、鈴木俊明：寝返り動作の違いが片脚立位保持時間に及ぼす影響について—体幹筋に着目して—. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.26

藤岡尚美、池澤秀起、井尻朋人、鈴木俊明：杖歩行の左立脚初期から中期に左側方への不安定性を認める脳血管片麻痺患者の一症例. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.26

福田圭志、中村英美、井尻朋人、鈴木俊明：後方転倒リスク評価について—後方ステップ能力に着目—. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.26

富田勇真、山本勝也、小野原礼香、川畑真奈美、稲谷早華、吉田隆紀、鈴木俊明：重心位置の変化による歩行時立脚後期での立脚側母趾への床反力の変化. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.27

刀坂 太、楠 貴光、早田 莊、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、三輪成利、鈴木俊明：股関節伸展および外転保持課題における重量負荷の変化が中殿筋、大殿筋の各線維における筋電図積分値に与える影響. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.27

森田大介、西村 健、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：

座位での股関節外転・外旋位保持課題が股関節周囲筋群の筋電図積分値に及ぼす影響—骨盤前後傾角度変化による検討—. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.27

三浦雄一郎、福島秀晃、森原 徹、鈴木俊明：リバースショルダー術後患者に対する自動介助運動の臨床応用—肩関節周囲筋の筋電図学的検討—. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.27

佐々木元勝、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：座位での足関節底屈運動における足趾アラインメントが足底圧中心位置変化と足関節周囲筋の筋活動に与える影響. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.27

木田知宏、早田 莊、木津彰斗、國枝秀樹、石濱崇史、末廣健児、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：座位での一側下肢拳上位保持における下肢拳上の高さの違いが身体運動と平均座圧中心位置に及ぼす影響. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.27

藤田菜摘、完山花菜、金岡 翼、清原直幸、好井直輝、中道哲朗、鈴木俊明：麻痺側股関節と胸椎・胸腰椎移行部の関連性を考慮した理学療法により立ち上がり動作が改善した脳梗塞左片麻痺患者の一症例. 第56回近畿理学療法学術大会. 和歌山. 2016.11.28

伊藤 陸、早田 莊、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：座位での股関節内旋・外旋角度変化が大殿筋下部線維、縫工筋、股関節内転筋の筋電図積分値に及ぼす影響. 第3回日本運動器理学療学会学術集会. 石川. 2016.12.4

楠 貴光、早田 莊、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：両側および一側上肢前方拳上保持角度変化が体幹背面筋の活動および脊柱運動に及ぼす影響について. 第3回日本運動器理学療学会学術集会. 石川. 2016.12.4

濱田 諒、井尻朋人、鈴木俊明：上肢拳上角度の変化による体幹伸展筋活動の検討. 第87回理学療法科学学術大会. 神奈川. 2017.1.22

白井孝尚、井尻朋人、鈴木俊明：立位保持にて後方への転倒傾向を認めた胸腰部脊柱管狭窄症の一症例. 回復期

リハビリテーション病棟協会学術大会 第29回研究大会. 広島. 2017.

池田裕介、井尻朋人、鈴木俊明：回復期リハビリテーション病棟における排尿管理とADLの関係－退院先・在院日数への影響－. 回復期リハビリテーション病棟協会学術大会 第29回研究大会. 広島. 2017.2.10

小林勇太、井尻朋人、鈴木俊明：手関節掌背屈角度が食事動作時に与える影響 一手関節角度と肩関節、肘関節角度との関連性を検討. 回復期リハビリテーション病棟協会学術大会 第29回研究大会. 広島. 2017.2.10

鷹野由夏、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明：左荷重応答期の筋活動パターンの改善により歩行の安定性が向上した左大腿骨転子部骨折患者の一症例. 第28回三重県理学療法学会. 三重. 2017.3.12

Suzuki T, Tani M, Bunno Y, Yoshida S: A mismatch of F-wave data and clinical findings in a patient with cerebrovascular disease. 10th International Society of Physical & Rehabilitation Medicine (ISPRM), Kuala Lumpur, Malaysia, 2016.5.29-6.2

Suzuki T, Tani M, Bunno Y, Takamori K, Mizuguchi M: Excitability of Spinal Neural Function by ASPT on the Chize (LU5) in Patients with Cerebrovascular Diseases with 3 Different Types of Neurological Findings. International conference of World Federation of Acupuncture-Moxibustion Societies Tokyo/Tsukuba 2016, Tsukuba, 2016.11.5-6

4. 研究費獲得状況

吉田隆紀：平成28年度 理学療法にかかわる研究助成補助金（日本理学療法士協会）。「腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法効果と脳由来神経栄養因子の測定意義」

5. その他

谷 万喜子：筋緊張と鍼治療 ージストニアへの鍼治療ー. (公社)全日本鍼灸学会近畿支部認定講習会. 2016.6.26

谷 万喜子：ジストニアに対する鍼治療. (公社)全日本鍼灸学会北海道支部認定講習会. 2016.9.11

吉田隆紀：運動器疾患に対する理学療法アプローチの再考. 和歌山県理学療法士協会紀北ブロック研修会. 2016.9.25

D. 社会活動・その他

特になし。